

大変ご無沙汰を致しております、バイオリン・ギコギコの一戸露子です。
この度は皆様ご健勝にて一堂に会せられ、心よりお祝い申し上げます。
まだ仕事にたずさわっておりまして参加が叶わず、本当に残念でなりません。

ウィーンに身を沈めまして早や37年、日本よりこちらの生活が長くなってしまいました。

お蔭様にて健康に恵まれ、オーケストラで弾き、犬と暮らしております。
この場をお借りして大変恐縮ですが、13年前にはかの子さんはじめ、お優しい皆様のご協力を頂き「故郷に錦」を飾らせて頂きました事、いつも心に沁みて有難く懐かしく思い出させて頂いております。

たまに、同志社時代の夢を見ます。

不思議なことに、中学の教員室の中や地下に降りて行った食堂、岩倉の叡電からの路、土手、礼拝に遅れそうになってあわてていたり、また岩倉全体が中国の奥深い幽境の墨絵のような神秘さで現れたりします。皆様そのような経験はありませんか？

「主の祈り」や「One purpose Doshisha・・・」もうろ覚えながら口に出ます。今ははっきり言えますことは、私にとって本当に幸せな中学・高校時代であったことです。

そこには優しさ暖かさが満ちていました。

そのような中学・高校時代を過ごせたことに、深く感謝しています。

クラスメートの皆々様、の益々のご健康とご繁栄を、遠い国より心からお祈り致しております。



一戸露子